

職員団体との交渉議事要旨

(開催日時)

平成31年3月28日(水) 14:00～14:47(47分)

(開催場所)

札幌開発建設部4階1号会議室

(出席者)

当局側(札幌開発建設部)

村津 敏紀(札幌開発建設部次長)

柏倉 歩(職員課長)、磯江 康貴(職員課長補佐)

職員団体側(全北海道開発局労働組合札幌支部)

服部 雅欣(副執行委員長)、横内 智子(書記長)

坂口 透(執行委員)、片山 勝範(執行委員)、金子 歩(執行委員)

(議題)

【2019年統一要求書及び2019年札幌支部職場要求書関係】

当部における職員の健康安全管理について

当部における育児休業等を取得しやすい職場環境の整備について

当部におけるハラスメントが行われない職場環境の整備について

(要求書に対する回答)

要求書のうち、交渉議題として取り決めた事項について回答(別添のとおり)

(要旨)

【議題1. 当部における職員の健康安全管理について】

(職員団体)

メンタル疾患者が職場に復帰した場合、本人や復帰をサポートする職員も、業務処理に余裕がなく必死に仕事をしている状況にあるのが実態であると考えているが、当局の認識はどうか。

(当局)

まずは、メンタル系疾患を発症させないことが第一であると考えている。メンタル系疾患の発症を防止するためには、早期発見・早期対処が重要であり、管理者や職員に対して、メンタルヘルス教育や、心の健康に関する情報提供を行うなど、発症の防止に向けた取組を行っているところである。

(職員団体)

一般健診及び人間ドックの再検査の受診率が上がらないと考えているが、当局の認識はどうか。

(当局)

今年度は、再検査を受けていない職員を早期に把握し、管理者から該当する職員に対して積極的に受診するよう促す取組を行っている。また、健康管理は、自身の問題として意識することが重要であることを職場ミーティング等で職員に啓発しているところである。

【議題2. 当部における育児休業等を取得しやすい職場環境の整備について】

(職員団体)

依然として男性の育児休業が少ないと思うが当局の認識はどうか。

(当局)

人事院の調査では、男性の育休実績が少ない要因として「業務が繁忙であること」、「収入が少なくなること」などがあるとされている。当局としては、業務繁忙を理由に男性が育休を取得できないことがないように、事務分掌や人員配置の見直しを行うなど、できるだけ取得しやすい環境整備に努めていきたいと考えている。

【議題3. 当部におけるハラスメントが行われたい職場環境の整備について】

(職員団体)

職員アンケートでは、いまだにハラスメントを受けたとの声があるが、当局の対策はどうか。

(当局)

ハラスメント防止に当たっては、「してはいけない」「言ってはいけない」など不適切な言動がクローズアップされる面もあるが、相手を思いやる気持ちが大事であることを含めた啓発をしていきたいと考えている。

※文責は札幌開発建設部当局（今後修正があり得る）